

新しい風

2009年3月 高山市

No.34

あなたらしく 私らしく 誰もがキラリ輝くまち 飛騨高山 ~ YOU&ME プラン21 が目指している姿です~

慣習やしきたりにとらわれていませんか



活かに満ち ともに支えあう地域

今年度の新しい風では、職場・家庭をテーマに取り上げてきました。今回は「地域」をテーマにしきたりについて考えてみました。国政、企業など大きな団体の中で女性の登用は年々増加し、女性の社会進出が進む中、一番身近な「地域」の中では女性の力が十分に活用されていません。

昔からの男性中心社会の慣習やしきたりがまだまだ根深く残っており、町内会の役員などはほとんど男性という地域が多いのが実情ではないでしょうか。

また意識の中で、女性は「地域のことは男がやること、女はサポートだけ」と思い込んでいないでしょうか。女性の力が活用されないということは、女性の声は反映されないということです。

また、男性は「女が出る場所じゃない。しゃしゃり出る女は生意気だ」と思っていないでしょうか。

男女で能力に差があるわけではありません。むしろ今まで男性だけで取り仕切っていたことを女性にも開放することで、男性にとっては負担が格段に減るのです。

男女それぞれの特性を生かしあいながら、地域の活性化・すみよいまちづくりができれば素晴らしいのではないのでしょうか。

町内会におけるアンケート調査結果(抜粋)について

昨年10月に高山市内の全町内会に対し、各町内から男女各1名ずつに回答していただく男女共同参画アンケート調査を実施しました。

調査内容は、町内会の三役の男女構成やその選挙方法、集会への出席者の男女構成などをお聞きしながら、「現状をどうすべきと考えているか」という意識の部分まで尋ねたのが特徴です。今回は抜粋部分だけご紹介します。

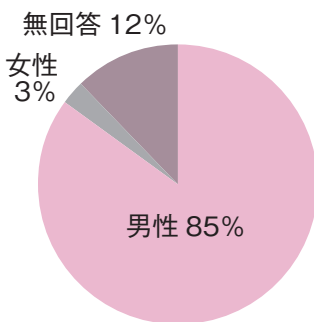
1. 回収率

	調査対象数	調査回収数		回収率
		男性	女性	
合計	576	443		76.91%
			男性 235 女性 208	

2. 役員の性別について

町内会長は全て男性です。副会長についても女性は3%しかいません。このグラフで無回答については、会長が副会長を兼務する場合もあるためです。

●副会長の性別

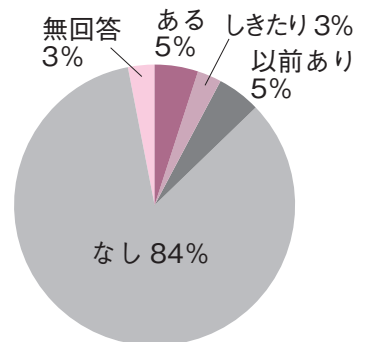


3. 出不足料の状況

「町内会行事などへの出役の際に女性や老人が出た場合、男性が出た場合と異なる出不足料を徴収する制度がありますか」という問いに対する回答です。

全体から見れば8%と少ないですが、男女共同参画という観点から考えると0になるのが望ましいです。

●出不足料について

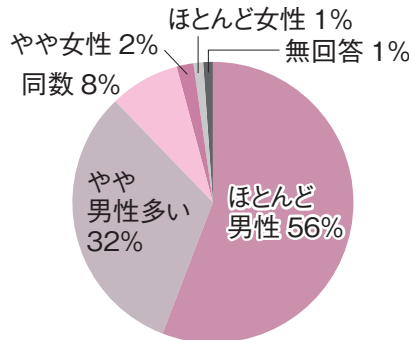


4. 集会出席者の性別について

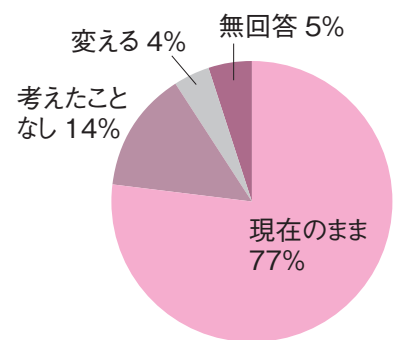
「ほとんど男性」と「やや男性が多い」が約9割となっており、これに対する考え方には95%以上が変える必要を感じていないとなりました。

このことから集会出席者に関して男女共同参画に対する意識の低さが伺い知ることができます。

●集会出席者の性別



●出席者の性別に対する考え方



花里地区社会教育委員長
白川千鶴子さん

平成4年から現在の花里地区に在住しています。平成5年に地区委員となり、給食費を集めて回ることから役員人生が始まりました。その後PTA保健副委員長→保健委員長→副会長を経て、平成12年から社教副委員長、女性部副部長、土曜教室実行委員長を兼務、花里社教の役員は、前年副会長が会長になるというやり方で、前役員が「地域のことを一番よく知っているのは白川さん」という強い推しで平成15年から社教委員長を務め、今年で6年目となります。

パート勤めをしながら役を務めましたが、家族の協力あっての実績であり、家族には非常に感謝しています。多い時は週に5日、少なくとも週に1日会議などがあり、何も無い週はなかったです。以前の役員会で、すごく夜遅くなって次の朝早く起きられなかったことがありました。その時に夫の母親に「ゆうべはご苦労様」と労いの言葉をかけてもらったことで、自分の活動が認められているということを実感し、非常にうれしかったことを覚えています。また、人と話をすることが好きで、人との出会いが好きなのでこの仕事をし非常に知り合いが増え、勉強にもなっています。

娘からはいろいろな知り合いのいる母親のことを好きだと言ってもらえたことも大きな心の支えになっています。社教委員長は今年で退任しますが、来年度からは、「団塊世代の地域参加を考える会」での思いから、地域の公民館を利用して老人や子どもたちが何かできる場づくりをしたいと考えています。



前片野町町内会長
和田つじ子さん

片野町は1～6丁目まであり班数は56、戸数は1300戸(うちアパートおよびマンション居住者で町内会未加入者300戸)の大所帯です。

町内会長を受けるまでには、女性部長→会計→副会長→会長という経緯がありました。片野町の町内会の役員を決めるときには、3役と丁目代表で組織される選考委員会が開かれます。その役の中の男性が高山市の男女共同参画の機運が盛り上がっていることや、片野町が男女共同参画に取り組んでいることを示すチャンスであること、市の男女共同参画という施策に協力する意味でもぜひ女性を選出したいということで話がありました。自分一人の判断で決定するわけにもいかないの、夫に話しましたが、「他にできる男性の方がいるのにわざわざなぜ女性であるあなたがやる必要があるのか?」という理由で反対されました。しかし役員の強い推薦と夫への説得もあり、夫も納得し町内会長を受けることになりました。

平成16年は公民館建設の準備期間ということで、拠出金、寄付金の調整、業者の入札までの手続き、入札立会など全くの男性社会の中に女性一人で行って行って平成17年着工前

までの準備段階の全てに携わりました。

公民館建設に関して、床暖房、エレベーター、屋根の融雪装置の設置の3点を挙げました。バリアフリー化などについては、反対も含め様々な意見も寄せられましたが、地域の未来を考えた上で外せないと判断し、建設に臨みました。その結果現在の公民館は、足の悪い方やお年寄りにも親しんでいただける施設として喜んでもらっています。

以前会計を務めていたために、年間30万円以上かかる屋根の除雪費用や、公民館の留守番人の人件費などの節約、また火の管理という安全の意味で床暖房化、不自由な方にも利用できる施設にしたいという思いがあったからこそ頑張りました。またこの年は台風23号の災害に見舞われた年で、片野町は避難所である山王小学校の周りがまるで海のような状態となり、ボートで移動するほどの水害に見舞われました。市内の各地が被害で大変な状況だと知り、急きょ役員会を開いて町内の災害後の後始末をする段取りをしました。重機を持ってきて泥上げをしてくれる人、会社を休んで手伝ってくれる人など、住民の協力に大変助けられて早期の後始末ができ、市長からも賞賛の言葉をいただきました。

今後は現在男性ばかりの町内会長に、ぜひ女性を選出されることを期待します。



南地区社会教育委員長
黒田久美子さん

平成13年から町内会の役の社教委員として役員デビューし、育った家庭環境も要因して、あまりこだわりなく地域役員代表に入っていくことができました。普段は勤務先で介護福祉士であり音楽療法士であるという顔を持つので、当然夜勤もあります。常勤でなくシフト制勤務であったために、昼間の時間を作ることができました。また家族の協力のもとで平成15年から社教委員長を務め、平成17年には南ふれあい文化祭も立ちあげ、充実した活動を行っています。

南地区は、駅前の商業地区と駅西のサラリーマン地区の混在した地域で、行事開催にしても休日が合わないために役員内ですれ違いが起きたりして大変なこともありましたが、それを乗り越えながら頑張ってきました。自分が委員長になる前までは、役員の構成がほとんど男性だったのですが、女性も入るようになってきました。その結果、社教運営委員会に女性部が入って活躍するようになりました。いろいろな人との出会いや、役をやることによって学ぶこともたくさんありました。今年社教主事が退職されるため、熟知した者が急にいなくなるわけにいかないの、あと1年は委員長を務めようと思っています。

が急にいなくなるわけにいかないの、あと1年は委員長を務めようと思っています。

編集委員から

三人の方達に共通して言えることは、大きな役を突然引き受けられた訳ではなく、長年子ども会やPTA活動など、地域に根ざした活動を続けてこられ、その延長線上での自然な流れとして町内会長・社教委員長というリーダー的な役をされるに至ったということ、そしてそれには「家族の協力」が不可欠であったということです。

また地域のリーダー的な役職をこなしていく上で、周囲の、特に男性のサポートが大きな力になっていることを実感しました。最初に強く推薦してくれたのも男性、その後役職についてからも力強い協力が得られたとのことで、男性にも女性にも認められる人間性を持ち、なおかつその地域の実情に精通されている方々なのです。

困難なこともあるのではと思っていましたが、男性社会の中での困ったことはほとんど感じなかったと話されたことが、私には少し意外でした。パイオニア的な活動の中で仕事をもち、家庭があり、その上での役職任務。時間の使い方が大変うまくパワフルな女性といった印象を持ちました。この方たちが特別ではなく、後に続く女性が数多く出てくることを希望します。

11月26日 第2回高山市男女共同参画推進懇話会を開催しました。

懇話会は、市内の学識経験者、市民および事業所の代表、教育機関の代表で組織される会で、毎年2回男女共同参画について話し合いをしています。

今回は、平成21年度が最終年度となる第2次高山市男女共同参画基本計画～YOU&MEプラン21～について次期に向けての取組みや、高山市男女共同参画推進会議専門部会の活動について話し合いをしました。

つゆみよの都 講演会&落語出前上映会について

～笑って学ぶ！家庭教育から始める男女共同参画～
テーマ「夢に向かって落語に生きる」

日本で第1号の女性落語家

露の都 さん 講演会&落語をさる3月12日(木)

高山市民文化会館で開催しました。当日聞いていただけなかった方のために次の日程でビデオ上映会を開催しますので、最寄りの会場にぜひお越しください。

時間はいずれも午後7時～8時30分 入場無料です。

3/16(月) 朝日支所 創作実習室

3/17(火) 上宝支所 大会議室

3/18(水) 国府支所 大会議室

3/19(木) 荘川支所 公民館

毎年6月23～29日は男女共同参画週間です。

内閣府にある男女共同参画推進本部は毎年6月23日から29日までの1週間 ※「男女共同参画週間」を実施しています。(※「男女共同参画社会基本法」の公布・施行日である平成11年6月23日を踏まえたもの)

これにちなみ今年の6月は高山市男女共同参画強化月間ということで各種講座や意見交換会などを実施します。詳細は次回発行する新しい風臨時号で発表します。

編集後記



●男性が女性を全面的にバックアップし、協力する町内会活動が展開されることによって、片野町のように女性町内会長がどんどん誕生したら市内に新しい風が吹きます。いずれ我が町内からも女性町内会長が選出されることを望みます。

●町内会など地域の役員には、女性が少ないなあといつも思っていたのですが、今回三人の方のお話を伺って、本当に心強く、安心しました。

地域での生活が、子育てなどする中でしっかりと根を張って大きな役を引き受けられても、ごく自然体で気負うことなく、男性とともに女性の視点を生かした活動をしておられるのではないのでしょうか。この方たちに続く女性が数多く出てきますように……

●今回のテーマは非常に現実味のあるもので、さまざまな場で女性が活躍している中、多くの地域ではまだ女性が進出できていない現状を知ることができました。身近な地域活動だからこそ女性の意見、パワーを発揮できるといいですね！

●「町内のことは夫や親に任せとけばいいや」と思っていました。その結果何年も住んでいる町内なのに、顔と名前が一致する人が少ないこと！地域に意見を発信する以前に、自分の存在を周囲に知らせることからスタートですね。

●今回の号の編集にあたり高山市内で男女共同参画を実践している地域があるのを知り、大変うれしかった。しかし逆にそうではない地域もあり、そういった地域間の意識の格差がかなり大きいというのも実感しました。

ハスタッフV: 志多吉雄・関西恭子・杉山ひろ美・金子節子・瀧根大樹(公募により、市民編集委員をお願いしています)

YOU&ME プラン 21 は、みなさんと一緒に進める男女共同参画の基本計画です。

発行：高山市市民部市民活動推進課
〒506-8555 高山市花岡町2丁目18番地
TEL0577-35-3412 FAX0577-35-3414
編集：市民編集スタッフ イラスト：関西 恭子

E-mail shisui@city.takayama.lg.jp
ホームページ http://www.city.takayama.lg.jp
/shisui/josei/index.html
○この情報誌について、ご意見等をお寄せください